毎月5日と20日は
無火災推進日です

# 松ヶ崎消防報

平成27年1月12日
左京消防団松ヶ崎分団
分団長　芝山　宗昭

## 消防分団は時代と共に変身・改善して活動します!

左京消防団松ヶ崎分団　分団長
芝山　宗昭

学区の皆様、明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。さて、昭和23年に発足した松ヶ崎分団は今年で67年目を迎えます。今年の消防報の末尾では、分団の歴史・退団者の功績に思いを巡らしました。この間、自然環境や社会組織は変化し、それに伴って消防団へのニーズも、それに応えるべき団員（シーズ）も変化しました。消防団活動も前例に囚われずに合理化し、有効なものに集中する必要がありましょう。本稿では、分団の新しい活動を紹介し、皆様のご理解やご助言を得たいと思います。

消防団の筆頭業務は、災害現場に駆けつけて行なう減災活動。それ以外に、災害予想現場での警備「警防」、防災器具普及・防災意識喚起「予防」、団員能力開発のための教育・訓練「教育」、屯所管理・装置器材管理・厚生「総務」の四業務になります。生業をもつ市民が自由時間を持ち寄って行なう活動であり、徒に多数回・多人数にならないように注意しながら、重点的な活動を心掛けています。

昨年に掲げた課題「大規模地震時の減災に役立つ消防分団作り」は下記のようにフォローしました。

- 地震想定学区内被害調査訓練「新」：各種団体長・民生委員・老人福祉委員約40名を調査対象。対象者および団員を東北居住者と南西居者に2分して組合せ、調査隊の持つ無線第1子機から分団器具庫内親機に向けて、「○○さん宅倒壊。現場に至る目印は××。救援頼む。」と送信訓練を2回実施。電波が工繊大建物に遮られる区域に対しては、小学校3階に移設した第2子機による中継が有効であることを確認。
- 小型動力ポンプ利用消火訓練「強化」：従来は小学校運動場入口での取水、七面さんや運動場が放水対象であった。新たに、大黒天参道での取水、妙円寺や白雲稲荷神社を放水対象に追加。4名編成複数チームが交互に、あるいはチーム内担当が入替っての放水で団員一人一人の技能を底上げ。
　昨年8月15日深夜、松ヶ崎中町で前川が溢れ、旧街道の一部が冠水した。短時間・局所的な“集中豪雨”の加害要因と、林山の保水力や前川の通水力（土砂堆積により低下？）などの耐性要因のバランス崩れと思われたので、「水災対応力向上」を重点課題に追加した。
- 4月、消防局より全団員分のライフジャッケトを受給。6月、本団主催の土嚢積み・ポンプによる排水・浮輪利用救助等の訓練に参加。
- 9月、団員を10名弱の2組に分け、それぞれで「前川・平田川点検・一部泥上げ」および「井出ケ鼻堰での排砂・土嚢作り・土嚢積み・安全ロープ使用訓練」を自主的に実施。

以上

最後に団員状況（シーズ）を紹介します。現団員26名の中には会社定年後に入団した団員が4名います。彼らは時間捻出を得意としますが、老化と苦闘中。その他団員の大多数は自営業や小企業従業員で長時間勤務のため、出動時間捻出に苦労。団員はそれぞれに弱点を抱えていますが、幸いにも、“多様な人材が組み合わさってこそ団が機能する”との共通認識が生まれています。

補足し合っての消防団活動にはより、多くの団員が必要になります。学区内居住あるいは勤務中の皆様の中で、2時間程度を月2回提供する志ある方、老若問わずの入団を熱烈歓迎いたします。時代と共に変身・改善する活動に是非、ご参加ください。

全国消防イメージキャラクター「消太」/総務省消防庁

## 消防分団の活動に一層のご支援ご協力を

松ヶ崎消防分団後援会　会長
三宅　秀典

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。皆様におかれましては、ご家族お揃いで、輝かしい新年をお迎えになられたことと存じ、心からお慶び申し上げます。

昨年も、残念ながら各地で災害が発生し、住人の心配、苦労が絶えませんでした。が、当学区では幸いにも、火災等大きな災害もなく過ごすことが出来ました。この事は、日頃から自主防災連合会と消防分団をはじめ、地域の皆様方のご協力により、一体となって防災避難訓練等に積極的に参加頂いて、その結果、防火防災意識の高まりにつながったものと感じております。

松ヶ崎学区では三ヵ年半に亘り無火災を達成してきましたが、昨年6月、府道（旧街道）上で走行中の自動車に火災が発生しました。他地域の車である為、一般的に持込火災と呼ばれております。地域内家屋等の火災ではなく幸いではありました。今後、改めて学区内の無火災を目指し、分団員一同、一致団結して取り組んでまいります。引き続きご支援ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## 避難所と身近な防災訓練

松ヶ崎学区自主防災連合会　会長
中島　熙泰

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、家族お揃いで希望に満ちた新しい年を迎えられました事と心よりお慶び申し上げます。

昨年の総合訓練は、雨の中での訓練になりましたが、沢山の住民の皆様に参加していただき、学区民の防災に対する関心の高さに感謝申し上げ厚く御礼申し上げます。

「いのちと暮らしを守る」避難所運営につなげるため、開設・運営の3つの基本方針を京都市の避難所運営マニアルでは設定しています。松ヶ崎自主防災連合会としましても、各種団体の皆様方のご支援とご協力を得て、安心できる避難所作りを目指したいと考えています。

昨年の総合訓練では、新たに誕生しました町内会からの参加者が、群を抜いて多く参加していただけました。町内会が設立され、普段はご近所さんの間ですが、何かあった時にはみんなで協力をし、助け合う「共助」の精神が働いたものではないでしょうか。

災害はいつどのような時に起こるかわかりません。有事の際に「自助」は当然の事、「共助」が最大に発揮されるには、常日頃からの近所付き合いが大切になってきます。自主防災連合会では、昨年同様一番身近なブロック単位での訓練を実施し、共助の精神を培っていき、町内会設立に向けての推進の一助を心掛けたいと願っております。

松ヶ崎消防分団のご指導・ご支援を得まして、皆様方と共に安心安全な学区・住みよい学区として、町内会発展にも役立つ訓練を心掛け、歩んでいきたいと考えておりますので、本年もご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

# 「安心・安全のまち」の実現に向けて

左京消防署　署長
村林　幹夫

新年明けましておめでとうございます。平成２７年の輝かしい新春を御健勝でお迎えのことと，心よりお慶び申し上げます。

松ヶ崎学区の皆様におかれましては，日頃から左京消防署が行います消防行政の推進に，深い御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて，昨年は，市内では連続放火による痛ましい火災や台風や豪雨などの自然災害による被害が発生いたしました。また，全国においても，広島市の土砂災害，御嶽山の火山噴火，長野県北部の地震などの災害が発生し，多くの尊い生命が失われるなど甚大な被害がもたらされ，改めて地域の皆様を守るという消防の責任の大きさを認識いたしました。

そのような中，左京消防署では，地域でご活躍をいただいております左京消防団とともに，更なる火災減少を目指し，区民の皆様方の安心安全を守り抜くため，「住宅防火及び焼死者防止の取組の推進」・「あらゆる災害への対応能力の向上」・「応急手当の普及啓発」さらには「自ら考え行動できる自主防災組織づくり」などの施策を，総力を挙げて取り組んでまいりました。

本年も昨年同様，「安心・安全のまち」の実現に向け，地域と密着した消防と力強い消防を目指し，あらゆる施策を通じて消防の使命達成に邁進してまいりますので，引き続きの御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして，松ヶ崎学区の今後益々のご発展と，火災のないまちと災害に強いまちづくりが推進されますことを祈念いたしまして，新年のご挨拶とさせていただきます。

## 松ヶ崎分団の歴史概要と諸先輩の紹介

**【発足と業務の変遷】**昭和23年9月5日、旧警防団員を中核にして、加茂消防団松ヶ崎分団が20名で発足。左京消防団松ヶ崎分団への改組は昭和25年4月。初代分団長は中町にお住まいの河村市次郎が引き受けられました。当時は消防署の人員や装備が不十分なため、建物火災の初期消火の任務を負っていました。百万遍から八瀬に至る広い地域を対象としていたため、10年間の学区内建物火災19件に近い17件の他学区火災の消火に協力、昭和37年の上賀茂ケシ山の山火事には15名が鉈や鎌を持って駆けつけました。当時の消防分団員は、まさに非常勤の消防署員と言うべき存在であったことが伺われます。

その後、市域の拡張、消防署や出張所の整備が進み、昭和35年には甲区域（消防車が5分以内に到着する区域）に指定され、建物火災などでは、署員の消火作業の周辺警備を担当するように軽減されました。一方、火災・水災の起こりそうな場面の警備、防火設備の点検、住民への予防広報などの多種類の定常的な業務をも担当することになりました。

平成7年の阪神淡路大震災を教訓に、平成9年8月には大規模災害対策用機材の小型動力ポンプが配備されました。平成26年には水災活動用安全チョッキが全員に配布されました。大規模災害時には、消防署と連携・並行して、調査・消火・救助の諸活動を行なうように修正が加えられつつあります。

**【余談】**初期の松ヶ崎分団には軍隊経験者が多かったせいか、行進・整列・敬礼動作を競う査閲コンテストの左京区代表常連で、市コンテストにも度々優勝しました。その伝統を受け継いで、その後も区内で上位を占めることが多く、器具庫の壁は表彰状で埋め尽くされています。

**【諸先輩】**発足以来67年目を迎え、その間に、99名の方が入団されました。現団員の26名を除く73名の諸先輩の名前と学区内住所を右記に謹んで掲示いたします。初代から前任分団長に至る10名の分団長は顔写真を併せてご紹介させていただきます。

### 松ヶ崎消防分団　歴代分団長のご紹介

〔初代〕
**河村市次郎**
昭２３～２８年度

〔第２代〕
**森島正司**
昭２９～３４年度
副分団長
中角敏造他

〔第３代〕
**岩崎平治**
昭３５～３８年度
副分団長
岩崎富雄他

〔第４代〕
**山田捨次郎**
昭３９～５８年度
副分団長
岩崎富雄他

〔第５代〕
**北川助三**
昭５９～６３年度
副分団長
清水正一
三宅隆三郎　他

〔第６代〕
**三宅秀典**
平１～６年度
副分団長
古村宸治
安東繁夫　他

〔第７代〕
**河村種男**
平７～１１年度
副分団長
島　浩之
岩崎文夫　他

〔第８代〕
**島　浩之**
平１２～１９年度
副分団長
中島熙泰
山本司郎　他

〔第９代〕
**三宅照男**
平２０，２１年度
副分団長
保科政徳
高尾菅二　他

〔第10代〕
**藤井照夫**
平２２，２３年度
副分団長
佐橋　学
小柳憲治　他

## 左京消防団松ヶ崎消防分団員

**消火器を備え、火災警報器（定期的な電池交換）は適切なものを設置しましょう。**

分団長　芝山 宗昭
副分団長　西郡 藤夫（総務担当）
副分団長　北川 憲一（予防担当）
副分団長　河村 栄二（警防担当）
副分団長　蒔田 桂三（教育担当）

**第１班**　「北東・東方面担当」
部長　三宅　勝（総務副担当）
部長　樋口 晶弘（予防副担当）
班長　山田　徹
班長　山田　勉
団員　高　靖敏
団員　山田 信雄
団員　白井圭一郎

**第２班**　「中・南方面担当」
部長　宇佐美賢一（教育副担当）
部長　三宅 祥文（警防副担当）
班長　卯野 貴也
団員　藤井 照夫
団員　島内　研
団員　才津 和範
団員　板垣　晋

**第３班**　「北西・西方面担当」
部長　京極 康生（警防副担当）
班長　梅津 康正
班長　矢野 博敏
団員　佐橋　学
団員　木村 宏章
団員　半井 達弥
団員　今西 謙介

平成27年1月現在26名［敬称略］　【団員の移動・退団】白井圭一郎／平成27年度京都市職員消防職となるため3月末退団予定。
難関の採用試験合格おめでとうございます。ご苦労様でした。

### 松ヶ崎分団で過去に活躍された方々

住所の（　　）の方はご他界

| 入団年 | 氏名 | 住所 |
|---|---|---|
| 昭和 23 | 河村市次郎 | （中町 9） |
| 昭和 23 | 松村常光 | （西町 13） |
| 昭和 23 | 森島正司 | （正田町） |
| 昭和 23 | 岩崎平治 | （堀町 7） |
| 昭和 23 | 清水種男 | （西町 10） |
| 昭和 23 | 中角敏造 | （堂ノ上町） |
| 昭和 23 | 岩崎富雄 | （西町 6） |
| 昭和 23 | 岩崎治男 | （中町 24） |
| 昭和 23 | 大川虎雄 | （六ノ坪 1） |
| 昭和 23 | 清水正一 | （堀町 23-4） |
| 昭和 23 | 清水澄三 | 東町 28 |
| 昭和 23 | 三宅順造 | （東町 27） |
| 昭和 23 | 三宅隆三郎 | （東町 8） |
| 昭和 23 | 山田捨次郎 | （中町 10） |
| 昭和 23 | 渡辺善之進 | （西町） |
| 昭和 29 | 岩崎成夫 | （木ノ本町） |
| 昭和 29 | 北川助三 | （壱町田町 1-12） |
| 昭和 30 | 河村均司 | （中町） |
| 昭和 30 | 古村宸治 | 六ノ坪町 |
| 昭和 30 | 中島茂雄 | （壱町田町 1） |
| 昭和 32 | 岩崎太美夫 | （堂ノ上町） |
| 昭和 32 | 河村種男 | （堀町 35） |
| 昭和 35 | 内藤一夫 | 転出 |
| 昭和 35 | 三牧淳一 | 転出 |
| 昭和 37 | 河村美与士 | （堀町） |
| 昭和 37 | 鈴木浅吉 | 転出 |
| 昭和 38 | 柏原昭夫 | 転出 |
| 昭和 39 | 三宅秀典 | 東町 4 |
| 昭和 40 | 布施浩司 | 正田町 |
| 昭和 40 | 山崎　利 | （御所ノ内町） |
| 昭和 41 | 荒木定雄 | 転出 |
| 昭和 42 | 高田良夫 | 転出 |
| 昭和 43 | 坂田　実 | 御所ノ内町 |
| 昭和 43 | 芝山　清 | 転出 |
| 昭和 49 | 安藤繁夫 | （泉川町 14） |
| 昭和 50 | 原　和道 | 転出 |
| 昭和 51 | 島　浩之 | 柳井田町 5-2 |
| 昭和 51 | 橋本　勇 | 転出 |
| 昭和 55 | 岩崎文夫 | （中町 12） |
| 昭和 57 | 中島熙泰 | 小竹藪町 27-25 |
| 昭和 57 | 三宅照男 | 東町 3-2 |
| 昭和 58 | 清水政俊 | 西町 10 |
| 昭和 58 | 高尾菅二 | 堀町 21 |
| 昭和 58 | 小柳憲治 | 六ノ坪 1 |
| 昭和 59 | 山田博久 | 中町 10 |
| 昭和 59 | 三宅信次 | 堀町 16 |
| 昭和 60 | 山本邦夫 | 六ノ坪 |
| 昭和 60 | 平野博史 | 東町 3-2 |
| 昭和 61 | 植垣正一 | 転出 |
| 昭和 63 | 山本司郎 | 井出ケ海道 |
| 昭和 63 | 岩崎純也 | 転出 |
| 平成　1 | 桑原正樹 | 転出 |
| 平成　1 | 芳川　薫 | 今海道町 |
| 平成　1 | 黒木孝志 | 転出 |
| 平成　1 | 保科政徳 | 小脇町 1 |
| 平成　2 | 北野武蔵 | 転出 |
| 平成　2 | 西野信雄 | （木ノ本町 18） |
| 平成　2 | 藤澤昌治 | 東桜木 |
| 平成　2 | 立木良一 | 転出 |
| 平成　3 | 稲荷　暁 | 転出 |
| 平成　8 | 竹内俊隆 | 海尻町 3 |
| 平成　9 | 岡田　亨 | 御所ノ内 1 |
| 平成 14 | 高木敏之 | 転出 |
| 平成 14 | 岩崎　基 | 転出 |
| 平成 16 | 宇田文弘 | 転出 |
| 平成 19 | 梶広宣 | 中町 32 |
| 平成 20 | 平井仁志 | 転出 |
| 平成 20 | 戸田慎太郎 | 転出 |
| 平成 21 | 佐々木　康 | 転出 |
| 平成 21 | 中川　浩 | 転出 |
| 平成 21 | 永原照士 | 転出 |
| 平成 21 | 上田尚玄 | 東町 31 |
| 平成 22 | 北川健志 | 転出 |

平成27年1月現在　合計73名